

2026年
2月

県内景況・確報

◎概況 **県内景況は、拡大基調にある。**

●2026年2月 おきぎん「カトレア」景況図●



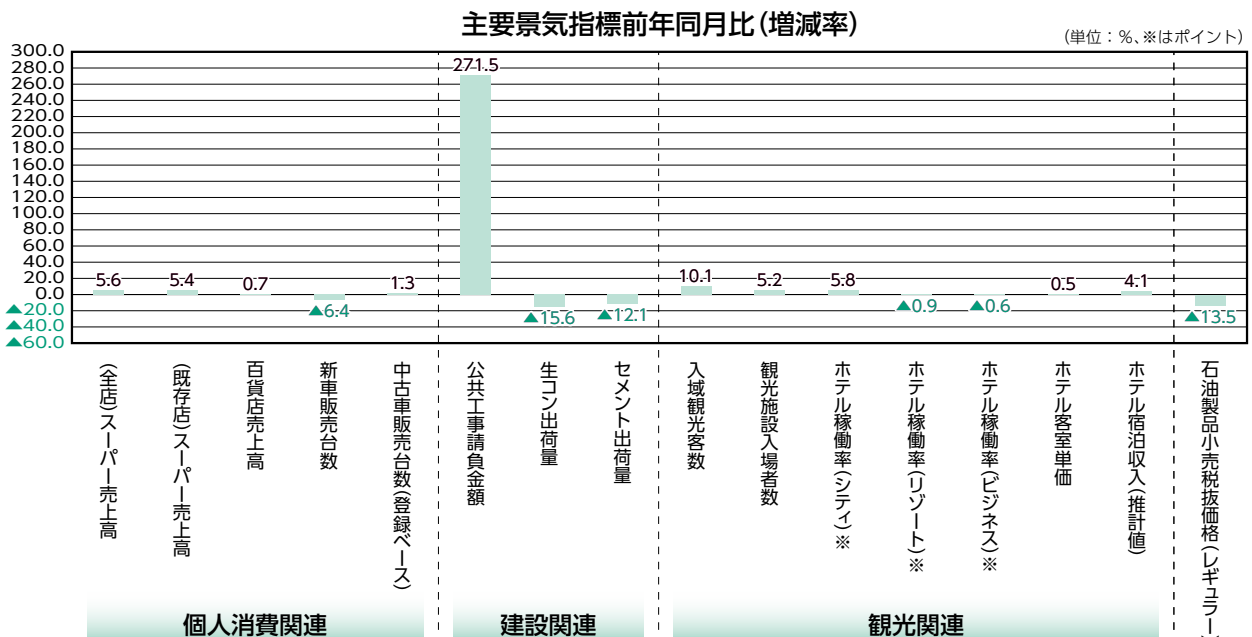
2月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を上回りました。耐久消費財である新車販売台数は前年同月を下回り、中古車販売台数は前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コン・セメント出荷量は、ともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月を上回り、ビジネスホテル、リゾートホテルは前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、拡大基調を維持しているものの、一部に停滞感がみられます。建設は、弱含んでいます。観光関連は、外国人観光客の増加などから、拡大基調にあります。よって、「**県内景況は、拡大基調にある**」と景気判断を据え置きました。

(2024年10月の上方修正から17か月連続で判断維持)





個人消費



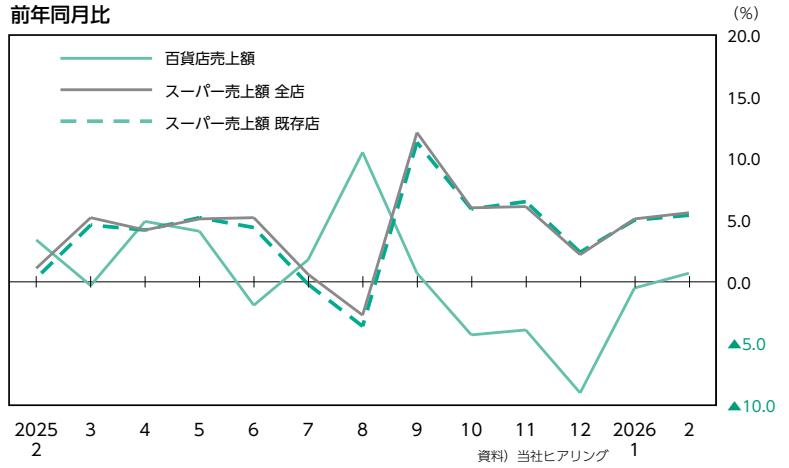
(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

2月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比5.6%増）」は、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同5.7%増）」は、物価高による単価上昇や季節商品の売り上げ伸長などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同6.0%増）」、家電を含む「家庭用品（同5.1%増）」は、観光客を含む客数増加などにより前年同月を上回りました。

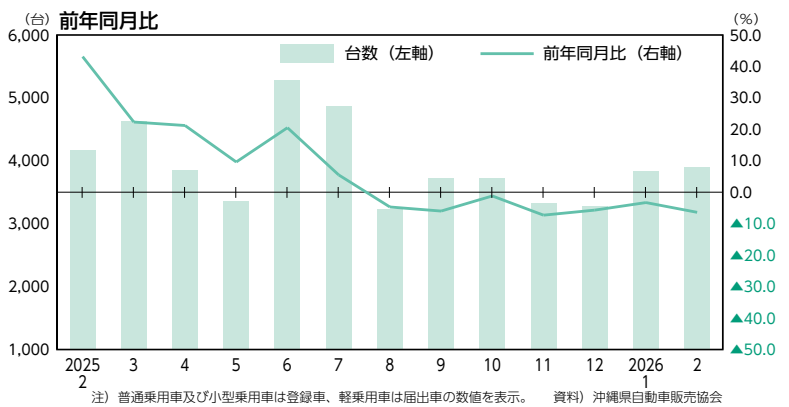
「既存店ベース（同5.4%増）」は、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同5.4%増）」は、物価高による単価上昇や季節商品の売り上げ伸長などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同6.7%増）」、家電を含む「家庭用品（同5.8%増）」は、観光客を含む客数増加などにより前年同月を上回りました。

百貨店売上高（同0.7%増）は、5ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品（同2.4%増）」は、バレンタインデー関連商品の売り上げ好調等により前年同月を上回りました。「家庭用品（同65.1%増）」は、催事企画の好調などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同4.9%減）」は、前年同月を下回りました。「雑貨（同4.1%減）」、「身の回り品（同2.6%減）」は、売り場面積の縮小などにより、前年同月を下回りました。



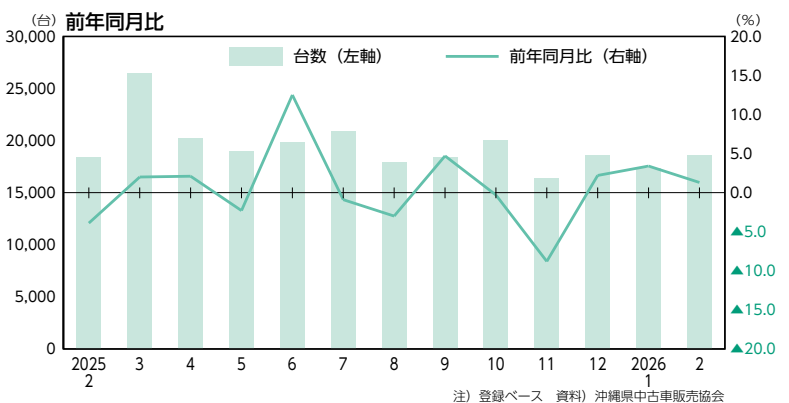
② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。

新車販売台数は、全体で3,903台（同6.4%減）となり、7ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車（同14.5%減）」、「小型乗用車（同22.9%減）」、「軽乗用車（同1.6%減）」は、ともに前年同月を下回りました。



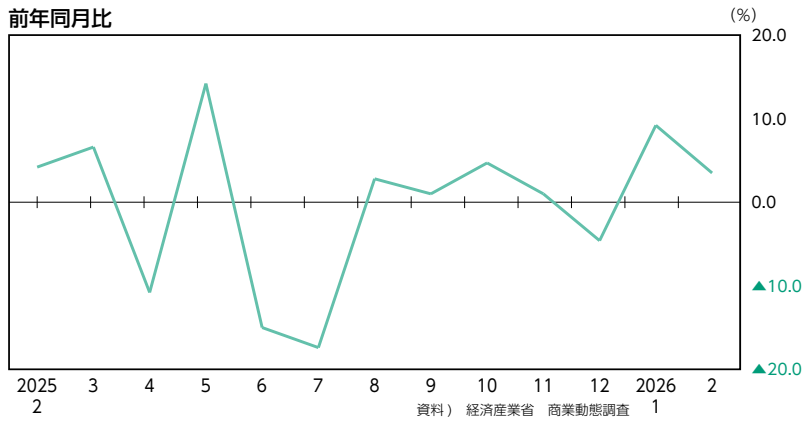
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で18,593台（同1.3%増）となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「軽自動車（同3.5%増）」は、前年同月を上回りました。「乗用車（同2.0%減）」は、前年同月を下回りました。



④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。



建設関連

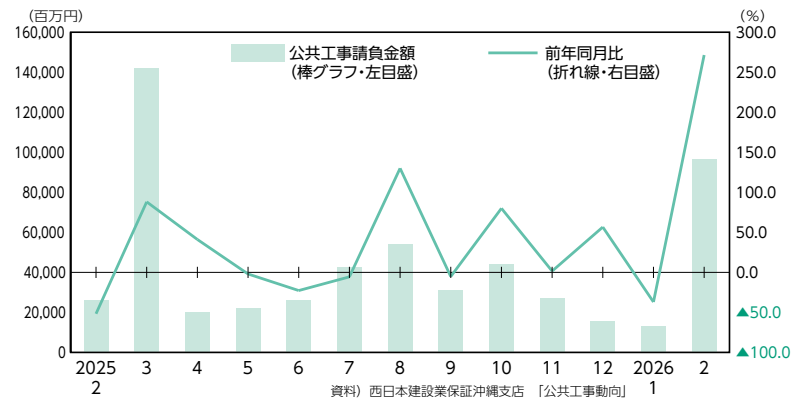


(ぶつう)

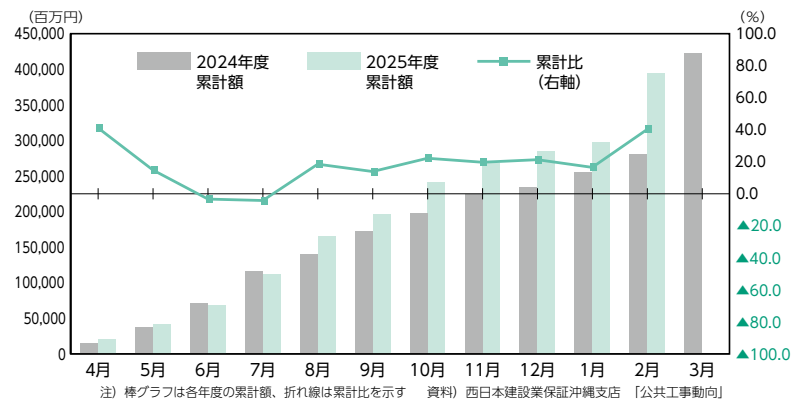
① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

2月の公共工事請負金額は、前年同月比271.5%増の968億2,700万円となりました。

発注者別でみると、「国（同318.5%増）」、「その他公共的団体（842.8%増）」、「市町村（同125.2%増）」と前年同月を上回りました。一方で「沖縄県（同5.0%減）」は前年同月を下回りました。



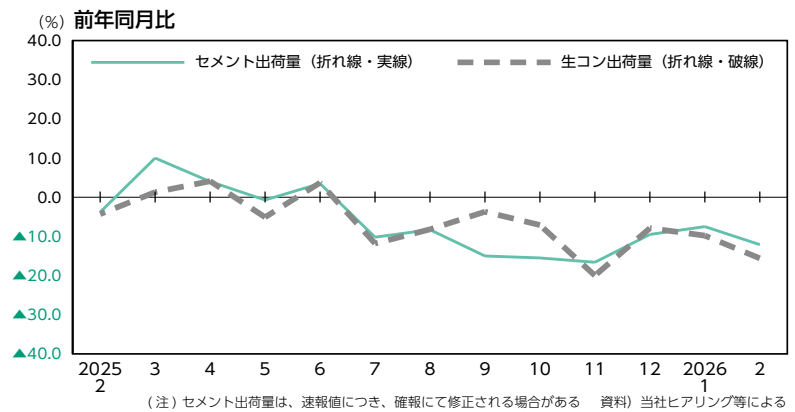
② 【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を上回る。





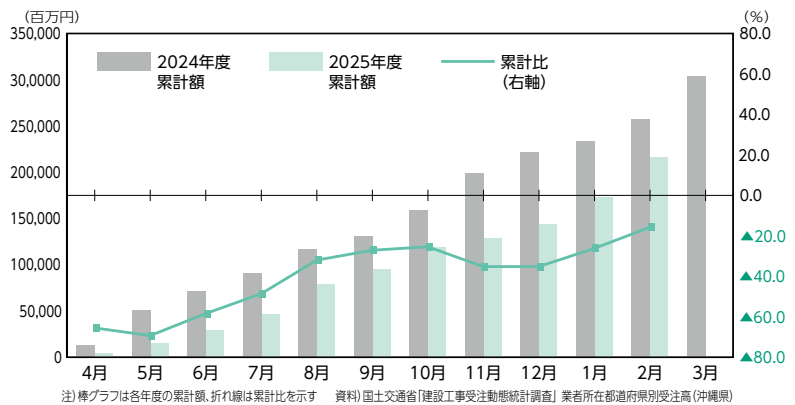
③ 建設資材…生コン出荷量・セメント出荷量はともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は、前年同月比 15.6% 減となりました。内訳をみると、民間工事向け（同 10.2% 減）は、北部地区、石垣地区は増加しましたが、中南部地区、宮古島地区において出荷が減少しました。公共工事向け（同 25.3% 減）は、北部地区、中南部地区、石垣地区、宮古島地区の全ての地域で出荷が減少しました。セメントの出荷量は 12.1% 減と前年同月を下回りました。



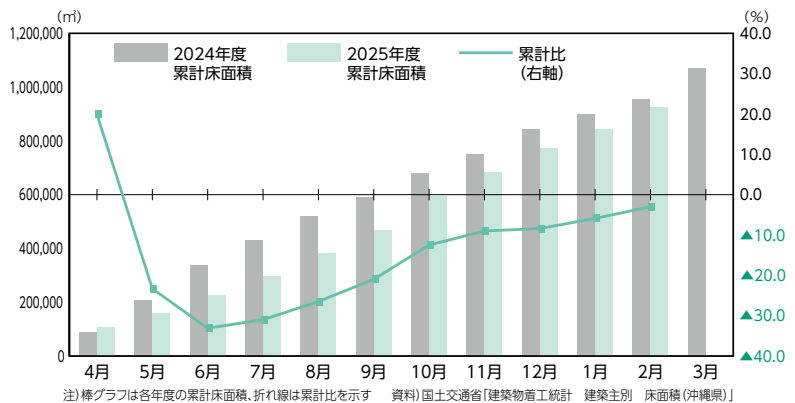
④ 【参考】民間等元請受注高(年度累計)…前年同期を下回る。

2025年度累計値では、15.8% 減となっています。



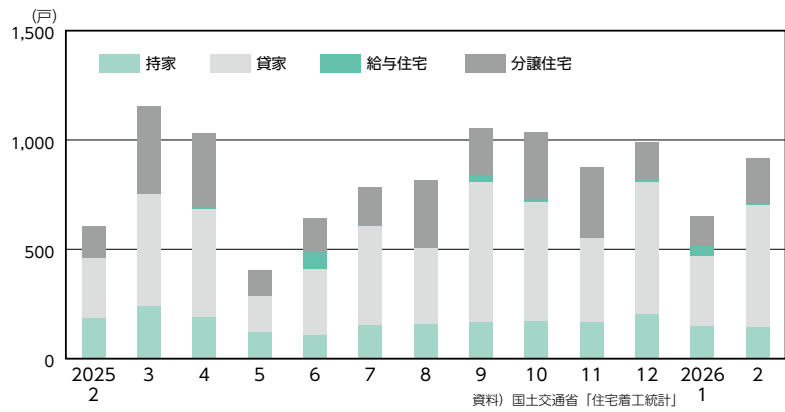
⑤ 【参考】民間着工建築物床面積(年度累計)…民間(会社+個人)着工建築物の累計床面積は前年同期を下回る。

2025年度累計値では、3.0% 減となっています。



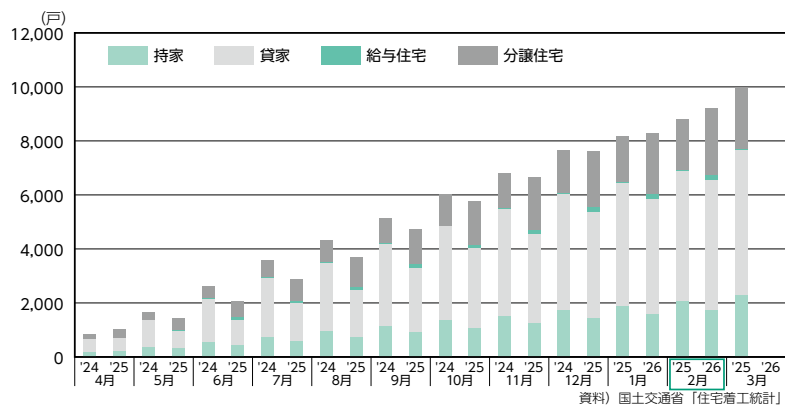
⑥ 住宅投資…着工戸数は前年同月を上回る。

2月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比51.2%増の915戸となり、前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家（同104.0%増）」、「分譲住宅（同38.1%増）」は前年同月を上回り、「持家（同21.6%減）」は前年同月を下回りました。



⑦ 【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を上回る。

2025年度累計値では、前年比4.7%増となっています。



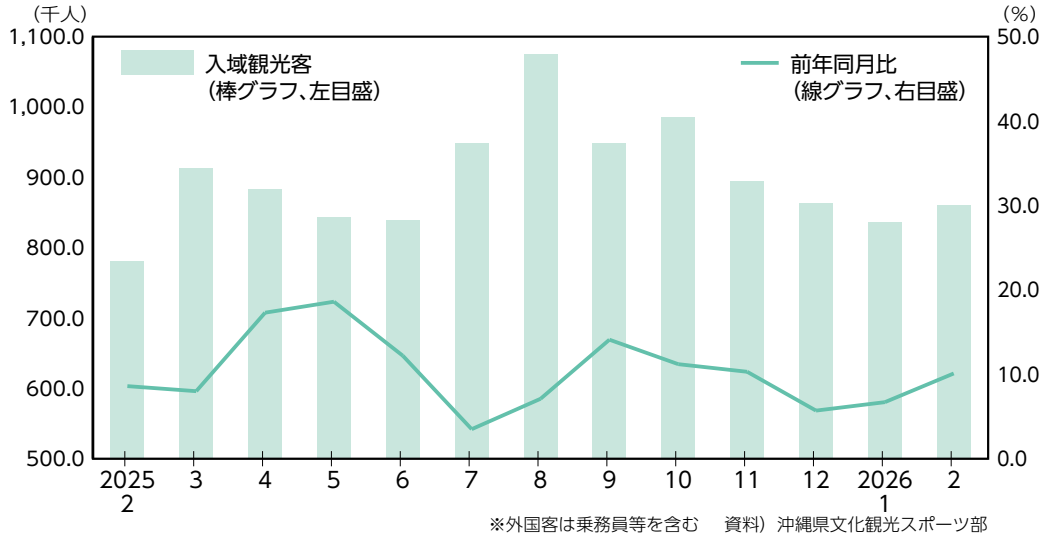


観光関連

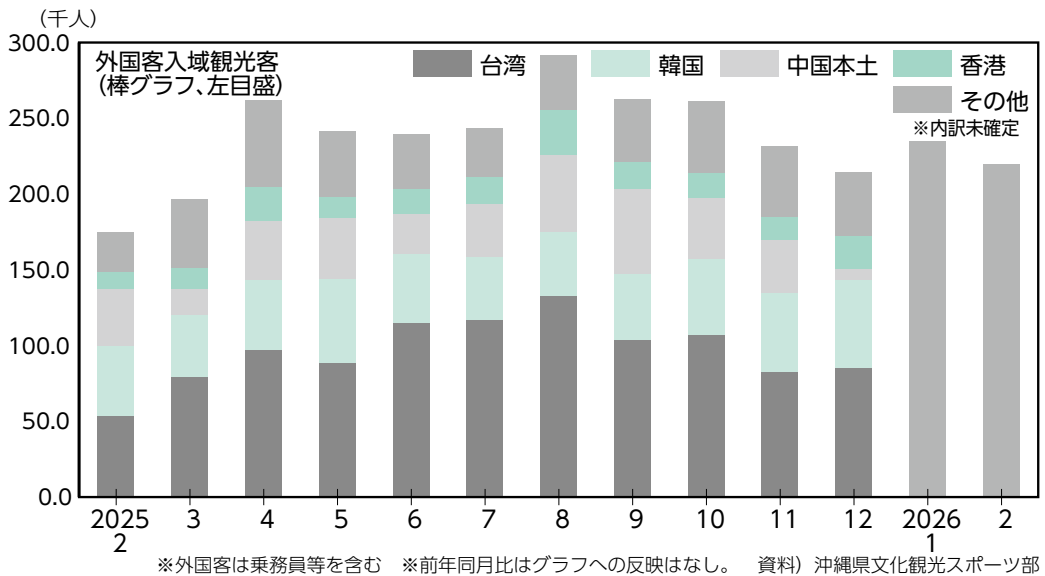


(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。



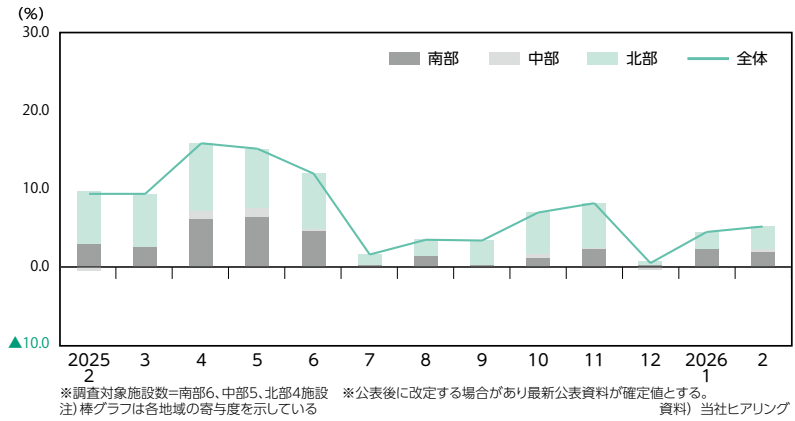
外国客入域観光客数…前年同月を上回る。



2月の入域観光客数は地方チャーター便やスポーツキャンプ等の影響により、860,200人(前年同月比10.1%増)となり、51ヵ月連続で前年同月を上回りました。2月としては過去最高の入域数となりました。外国人観光客は219,400人(同25.4%増)となり前年同月を上回りました。内訳は、空路173,100人(同32.8%増)、海路46,300人(同3.6%増)となりました。

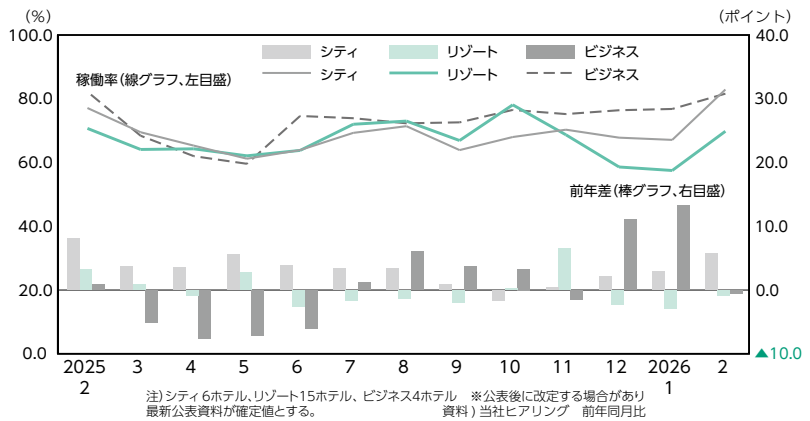
② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

2月の観光施設入場者数は、全体では5.2%増となり47カ月連続で前年同月を上回りました。地域別で見ると、南部の観光施設は4.8%増、中部は4.8%増、北部は5.6%増となりました。



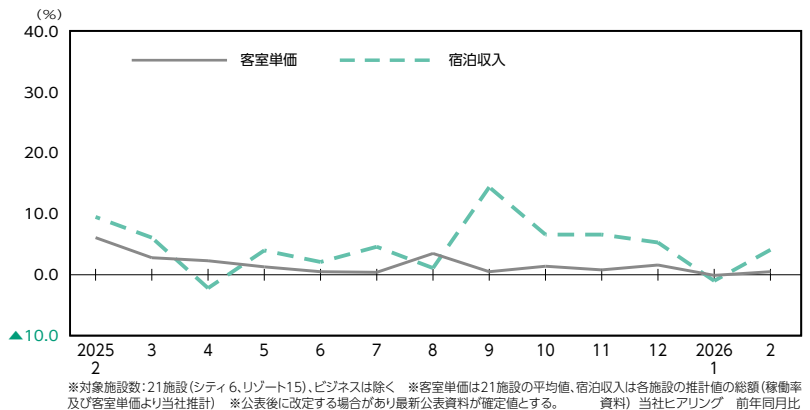
③ ホテル稼働率…シティホテルは前年同月を上回る。ビジネスホテル、リゾートホテルは前年同月を下回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比5.8ポイント増加、リゾートホテルは0.9ポイント減少、ビジネスホテルは0.6ポイント減少しました。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価、宿泊収入ともに前年同月を上回る。

ホテル客室単価（シティ&リゾート）は0.5%増と2カ月ぶりに前年同月を上回り、宿泊収入は4.1%増と2カ月ぶりに前年同月を上回りました。





企業倒産

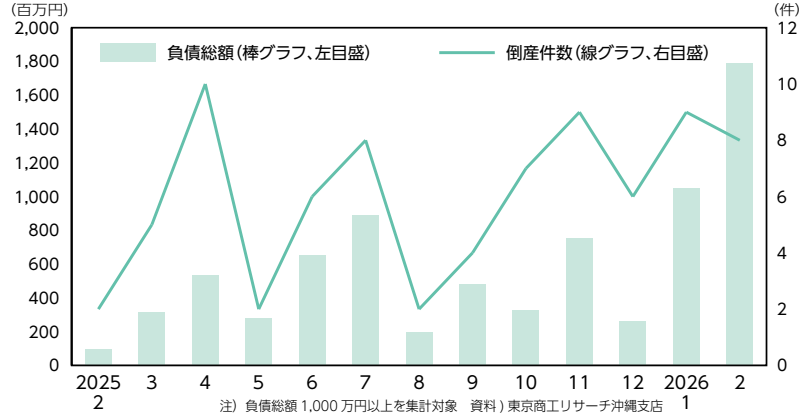


(ふつう)

1 企業倒産…件数・負債総額ともに前年同月を上回る。

2月の企業倒産件数は8件（うち1億円以上10億円未満の大口倒産3件）となり、前年同月より300.0%上回りました。

負債総額は17億9,200万円となり、前年同月より1,728.6%上回りました。



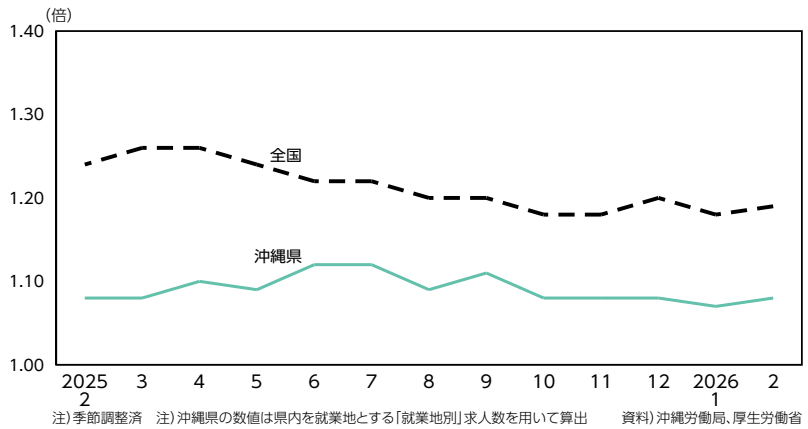
雇用関連



(やや良い)

1 有効求人倍率…沖縄・全国ともに前月より低下

2月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比1.3%減の28,781人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比2.1%減の26,632人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.08倍と、前月より0.01ポイント低下しました。



2 完全失業率…沖縄・全国ともに前月より上昇

2月の完全失業率（季節調整値）は、3.3%となり前月より0.2ポイント上昇しました。

